

---

# ありがとうを教えてくれた

甘酸っぱいもも

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ありがとうございました

### 【Zコード】

Z5244BA

### 【作者名】

甘酸っぱいもも

### 【あらすじ】

「コナン君が病気になってしまつお話

メンバーの気持ちを描いたり懸命に生きるコナン君を書かせて頂きました！

これを見て生きる大切さを知つていただけたら嬉しいです  
笑い涙する話にしたい！

注意する点は前書きでお知りせします

## 1話 我慢しないで？

1話

AM7:00

「コナン君起きて朝よ」

「うんおはよう蘭ね～ちゃん」

「ほら～」飯食べて！遅れちゃうよ

「いっただつあまーす」

このときまでは氣づかなかつた

コナンの体が病魔に浸されてきているのを

「いっべきまーす」

「いってらっしゃい」

「昨日のヤイバー見たかよ！」

「ええ！かつこ良かつたですよね」

学校

「みんな1+1=?」

「2ーーーーー！」

「はあつまんねーな

「ええ」

「今日は天氣がいいのでドッヂをしまーす！」

「やつた～」

校庭で1人佇むコナン

「どうしたの？江戸川くん」

「いや、ちょっとだるくて」

「ちょっと一熱あるわよ」

「えつ！別にいいよ」

「ダメ！保健室行きなさい！」

「はいはい」

「37度少し高いわね帰りなさい」

「コナン君！大丈夫？」

「あつ！蘭ね～ちゃん大丈夫だよ」

「さあ帰りましょ～」

毛利探偵事務所

「はあ」

「どうしたの？」

「ううん」

「部屋で寝ててね」

「うん」

このときコナンは感じていた  
自分の体がおかしい」とを

「コナン君」飯よ

「いいよお腹空いてないから」

「でも少し食べてね」

PM10:00

「ゴホッ」

突然の咳に起きた「ナン

いつもなら数分で治まるはずの咳も今日は全然治まらない  
次第に吐き気と眩暈もしてきた

「はあはあ」

蘭と小五郎も心配してやってきた

「コナン！」

「コナン君！」

咳が出てる間ずっとコナンの背中をさすり続ける蘭  
尋常じや あない咳に小五郎も救急車を呼びに行つた

## 1話 我慢しないで？（後書き）

始めまして！

甘酸っぱいももです

1日1話更新できるよう頑張ります！

みじかくお願いします

ネクストコナンズヒント

病気の発覚

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5244ba/>

---

ありがとうを教えてくれた

2012年1月14日15時48分発行